

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		びよランド		公表日		2026年3月28日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・今日の活動で使用する物以外は片付けている。	・引き続き安全、安心して過ごせるように環境を整えていく。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・基準を満たしたうえで活動や個々の状況に応じて十分な配置になるようにしている。	・十分な人員配置が維持できるよう人員の確保に努めていく。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・動物のキャラクターのシールが貼ってあり、どの部屋に行けば良いのか分かるようになっている。	・個々の特性をしっかりと把握し、合理的配慮に努めています。今後も安全に過ごすことが出来るように設備を整えていきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・営業後に毎日掃除をして清潔にしている。 ・翌日に必要な準備や片付けをして活動しやすい空間にしている。	・心地よく生活することが出来るように環境整備に努めていく。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・静養室にてクールダウン出来るようになっている。 ・冷暖房、寝具を完備している。	・個々の状況に合わせて対応できるようにしていく。	
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・部署内会議等で振り返りを行い、業務改善に努めている。	・業務改善、業務効率化に努めていく。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・保護者の声を職員間で共有し、改善に向けて話し合っている。	・業務改善、業務効率化に努めていく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・部署内会議等で振り返りを行い、業務改善に努めている。	・職員が意見を言えるような関係、雰囲気作りをしていく。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		・外部評価を検討していく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・研修報告書にて学んだことを全職員に伝達している。 ・オンライン研修を行っており、自宅でも研修出来るようにしている。	・引き続き、研修を受講できるように職員配置を考慮していく。	

適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・ホームページで閲覧できるようにしている。	・適宜見直し、必要に応じて改善していく。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・保護者、ご本人の意見を取り入れつつ、現状の課題等共有し、話し合いながら支援方法を決めている。	・ご本人、保護者、関わる職員へ分かりやすく支援計画に記載していく。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・ケース会議で個々の支援方法について話し合い、共有理解の下、計画に盛り込むようにしている。	・個々の特性や状況把握に努めていく。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・支援計画に沿った支援をチームで行っている。	・引き続き全職員が個別支援計画の目標を共有できるようにしていく。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・日々の記録やケース記録も参考にアセスメントしている。	・今後も必要なアセスメントを行っていく。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・保護者、ご本人と話し、課題を明確にしガイドラインをふまえて計画を立てている。	・ご本人、保護者、関わる職員へ分かりやすく支援計画に記載していく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・月案、週案を立てて目的を明確にして取り組んでいる。	・チームワークを意識して支援していく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・季節を感じられる活動を取り入れたり、色々な経験が出来るように新しい活動を取り入れている。	・子ども達が興味を向けるにはどうしたらよいか発達を促す視点を大切にいく。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・個別指導、集団活動等組み合わせサービスを提供している。 ・アセスメントにて状況を把握し、計画している。	・個々の成長段階を見極め、計画していく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・予定や活動内容、役割がわかるようにホワイトボードに記載したり、LINEワークスにて共有している。	・変更があった際にはすぐに伝え、情報共有し行動出来るようにしていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・LINEワークスにて情報共有をしている。	・当日出勤していない職員にきちんと伝わるようにしていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・日々の記録をもとに会議の中で支援方法を検討している。	・日々の記録や振り返りを充実させていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・半年ごとに部署会議にてチームでモニタリングを行い見直しをしている。	・引き続き成長段階に応じて見直しをしていく。
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		・自立を支援するための活動をベースに子ども達が楽しめる活動も組み込んでいる。	・4つの基本の活動をバランスよく組み込んでいく。	
25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	○		・利用時間中に自己選択出来る場面を設けたり自己決定をすることが出来るよう職員が個々に合わせたコミュニケーションにて行っ	・引き続き個々の特性を把握し、個々に合わせたコミュニケーションを検討していく。	

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・積極的に返し、情報共有している。	・引き続き担当者が参加出来るように日程調整していく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・学校迎え時や電話等の連絡で情報共有している。	・積極的に関わりを持ち、連携に努めていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・適宜、事業所での様子等子どもの情報を伝え、共有している。	・積極的な連携に努めていく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・担当者等で情報共有している。分からないことがあれば適宜連絡を取り合っている。	・分からないことがあれば相談支援員さんを通して情報共有に努めていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		・移行する事業所に情報提供シートを渡したり、担当者会時に情報共有をしている。	・今後もご本人、家族が困らないようにスムーズに移行できるようにしていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。			・様々な研修に参加させて頂き、スキルアップをしている。	・専門的な知識を習得していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		・地域のお祭りや作品展に参加し、交流している。	・子ども達にとってよい交流となるような機会を作っていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		・出席できるよう調整している。	・引き続き参加し事業所間の繋がりを強化し地域の問題に取り組んでいく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・送迎時にその日の様子を保護者の方に伝え、情報共有をしている。 ・支援中に気になったことは保護者の方に家で様子を聞くようにしている。	・引き続き家、学校、事業所の様子の情報共有をしている。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・研修等に参加し、個々の相談に応じて家族支援をしている。	・引き続き家族支援を行い、サポートしていく。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時に説明を行い、玄関の見やすい場所にいつでも閲覧できるように運営規定を備えつけている。	・契約時に分かりやすく説明し、変更があった時にはその都度説明をし同意を得ていく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・相談員さんの支援計画案やアセスメントシート、保護者さんとの話し合いから方針を決めている。	・毎回家族の意向を確認していく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・適宜必要な時に説明し、同意を得ている。	・保護者と話す時間を確保し、丁寧に説明していく。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・必要に応じて面談を行い抱えている問題に素早い対応が出来るように心掛けている。	・日頃から相談しやすい関係作りを努める。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	・事業所参観時に保護者同士での交流や話す機会があるようにしている。	・保護者同士、兄弟同士が交流する場が増えるように努めていく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・ご意見BOXを設置している。 ・苦情があった場合には迅速に対応し改善に努めている。	・引き続き迅速に対応していく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・毎月のおたよりやHUGにて情報を発信している。	・内容によってどのような発信の仕方が良いのか検討していく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・外部へは匿名で使う等配慮している。 ・使用する場合には保護者に確認をしている。	・引き続き保護者の同意を得て正しく取り扱いしていく。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・個々に応じて伝達方法を変えている。	・本人や保護者の特性を十分に理解し出来る限り配慮していく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・地域のお祭りや作品展に参加し交流する機会を作っている。	・地域との交流がもっと増やしていく。

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・HUGにいつでも閲覧できるようにしている。 ・様々な訓練を実施し職員が対応出来るようにしている。 	・定期的にマニュアルの見直しに努める。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・外部から講師を呼び研修を行っている。 	・策定したBCPを職員がしっかりと把握し訓練に活かしていく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・服薬状況や発作など定期的に様子を聞き、対応マニュアルを見直している。 	・引き続き、個々の変更時にマニュアルを見直していく。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者から契約前にアセスメントアレルギーの有無を確認し配慮すべき点を聞き取りしている。 	・引き続き、口にするものの原材料に配慮していく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・安全計画に基づき必要な管理を行っている。 	・子ども達も保護者も安心して過ごすことが出来る様安全管理に努めていく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・HUGにいつでも閲覧できるようにしている。 	・年度ごとに見直し情報の更新に努める。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・リスクマネジメント管理して毎月部署内会議で話し合い、情報共有し対策をしている。 	・引き続き、情報共有、対策をしていく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・内部研修、外部研修を行っている。 ・虐待防止委員会を設立している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、研修に積極的に参加していく。 ・日々の話し合いを大切にしていく。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・部署、法人内で検討し保護者に同意を得たうえで個別支援計画に記載している。身体拘束をした時には記録を残している。 	・事案がある場合には適切に対応していく。	